



平成30年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年6月11日

上場会社名 株式会社シャノン 上場取引所 東
 コード番号 3976 URL http://shanon.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中村 健一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 経理管理担当 (氏名)友清 学 (TEL) (03) 6743-1551
 四半期報告書提出予定日 平成30年6月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年10月期第2四半期の連結業績(平成29年11月1日～平成30年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年10月期第2四半期	847	11.3	△53	—	△51	—	△51	—
29年10月期第2四半期	761	—	△29	—	△41	—	△32	—

(注) 包括利益 30年10月期第2四半期 △51百万円(—%) 29年10月期第2四半期 △32百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年10月期第2四半期	△37.69	—
29年10月期第2四半期	△25.51	—

- (注) 1. 平成28年10月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年10月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、平成29年10月期第2四半期及び平成30年10月期第2四半期は、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年10月期第2四半期	1,033	306	29.6
29年10月期	1,025	357	34.8

(参考) 自己資本 30年10月期第2四半期 306百万円 29年10月期 357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年10月期	—	0.00	—	—	—
30年10月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年10月期の連結業績予想(平成29年11月1日～平成30年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,934	21.9	9	—	6	—	0	—	0.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年10月期2Q	1,380,050株	29年10月期	1,378,850株
30年10月期2Q	50株	29年10月期	50株
30年10月期2Q	1,379,211株	29年10月期2Q	1,292,391株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々は要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが属するクラウドサービス市場においては、クラウドサービスを利用している企業の割合は引き続き上昇傾向にあります。総務省の平成29年「通信利用動向調査」によると、平成29年度末におけるクラウドサービス利用企業の割合は56.9%（前年46.9%）に拡大しており、半数を超える割合となりました。また、同調査によると、資本金規模別のクラウドサービス利用状況においても、資本金規模に関わらずその利用率は拡大傾向にあり、クラウドサービス利用の裾野が広がりを見せております。また、平成30年1月には株式会社アイ・ティ・アールが発行する市場調査レポート「ITR Market View：SFA／統合型マーケティング支援市場2018」において、当社グループが属する統合型マーケティング支援市場の2016年度の売上金額は107億7,000万円、前年度比60.7%増と大幅な増加となりました。統合型マーケティング支援への注目が近年急速に高まっている中、参入ベンダーの増加も相まって市場は急速な伸びを示しており、2017年度も同様の傾向が続き、前年同期比50.4%増と引き続き高い伸びが見込まれるとしています。その中で、当社の統合型マーケティング支援サービス『シャノンマーケティングプラットフォーム』が、統合型マーケティング支援市場におけるベンダー別売上金額シェアで、7年連続（2010年度～2016年度）1位、統合型マーケティング支援BtoB向け市場におけるベンダー別売上金額シェアで、5年連続（2013年度～2017年度(予測)）1位（出典：ITR「ITR Market View：SFA／統合型マーケティング支援市場2018」および「ITR Market View：マーケティング管理市場2013～2017」）を獲得しております。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間における売上高は847,243千円（前年同期比11.3%増）となり、平成29年12月公表の通期業績予想に対し、概ね見込み通りに推移しております。また、営業損失は、支払手数料を想定よりも低く抑えられたこと、採用活動の進捗が計画よりも遅れたことにより採用費や人件費の計上額が想定より低くなったことにより、当初の見込みよりも小さくなっております。

当社グループはマーケティングプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報との関連についての記載はしておりません。サービス別の売上高の概況は以下のとおりです。

a マーケティングオートメーション

当サービスにおいては、サブスクリプション売上（システム利用料（月額定額＋従量課金））は、おおむね順調に推移したものの、新規獲得の進捗は計画に対して遅れている状況となっております。しかしながら、当第2四半期連結累計期間に新規に獲得し、売上計上を開始したサブスクリプション（システム利用料（月額定額））は、前年同期を上回っており、また解約額については前年同期を下回った結果、純増額（アップグレード、ダウングレードは含めていない）は前年同期比1,231.1%の増加となりました。また、プロフェッショナルサービス売上については、受注や納品に遅れが発生したため、当初想定を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における契約アカウント数は、353アカウント（前期末比4.7%増）、当第2四半期連結累計期間における売上高は569,338千円（前年同期比0.3%増）となりました。

b イベントマーケティング

当サービスにおいては、前連結会計年度のレポート案件、新規案件ともに順調に推移しました。また、前連結会計年度の途中から発生しているイベントプロデューサーに関連する案件の売上高も順調に推移しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は277,905千円（前年同期比43.5%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は847,243千円（前年同期比11.3%増）、営業損失は53,191千円（前年同期の営業損失29,343千円）、経常損失は51,539千円（前年同期の経常損失41,272千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は51,983千円（前年同期の親会社株主に帰属する四半期純損失32,963千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、1,033,730千円（前連結会計年度末1,025,913千円）となり、7,817千円の増加となりました。このうち、流動資産は571,353千円（前連結会計年度末599,704千円）となり、28,351千円の減少となりました。この主な要因は、現金及び預金が79,344千円増加、受取手形及び売掛金が93,142千円減少、その他流動資産が17,027千円減少したことによるものであります。固定資産は460,108千円（前連結会計年度末426,208千円）となり、33,900千円の増加となりました。この主な要因は『シャノンマーケティングプラットフォーム』の機能強化のための開発等によるソフトウェア及びソフトウェア仮勘定の増加32,303千円によるものであります。また、社債の発行に伴い新たに社債発行費2,268千円を繰延資産として計上しております。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、727,131千円（前連結会計年度末668,646千円）となり、58,484千円の増加となりました。このうち流動負債は407,974千円（前連結会計年度末429,997千円）となり、22,023千円の減少となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が18,078千円、借入金が35,039千円がそれぞれ減少、社債発行により社債（1年内償還予定）が30,000千円増加したことによるものであります。また、固定負債は319,157千円（前連結会計年度末238,649千円）となり、80,508千円の増加となりました。この主な要因は社債発行により社債が120,000千円増加、借入金返済により借入金が39,492千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、306,599千円（前連結会計年度末357,266千円）となり、50,667千円の減少となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が51,983千円減少したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは80,702千円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失51,539千円（減少要因）、仕入債務の減少18,078千円（減少要因）、減価償却費42,387千円（増加要因）、売上債権の減少93,382千円（増加要因）、賞与引当金の増加18,784千円（増加要因）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により支出した資金は75,885千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出67,864千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により増加した資金は74,067千円となりました。これは主に、新規借入による収入100,000千円、借入金返済による支出174,531千円、社債発行による収入147,611千円によるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して79,344千円増の313,781千円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年10月期の通期の業績予想につきましては変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	234,436	313,781
受取手形及び売掛金	262,303	169,161
仕掛品	24,622	27,065
その他	78,426	61,398
貸倒引当金	△83	△53
流動資産合計	599,704	571,353
固定資産		
有形固定資産	48,921	45,377
無形固定資産		
ソフトウェア	203,794	225,915
ソフトウェア仮勘定	42,522	52,705
その他	158	149
無形固定資産合計	246,475	278,770
投資その他の資産		
その他	140,837	145,987
貸倒引当金	△10,026	△10,026
投資その他の資産合計	130,811	135,960
固定資産合計	426,208	460,108
繰延資産	—	2,268
資産合計	1,025,913	1,033,730

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,152	41,073
短期借入金	—	45,830
1年内返済予定の長期借入金	173,208	92,339
1年内償還予定の社債	—	30,000
未払法人税等	4,381	3,554
賞与引当金	23,145	41,958
繰延税金負債	480	480
その他	169,629	152,736
流動負債合計	429,997	407,974
固定負債		
社債	—	120,000
長期借入金	238,649	199,157
固定負債合計	238,649	319,157
負債合計	668,646	727,131
純資産の部		
株主資本		
資本金	383,735	384,095
資本剰余金	304,447	304,807
利益剰余金	△332,554	△384,538
自己株式	△282	△282
株主資本合計	355,344	304,080
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,922	2,251
その他の包括利益累計額合計	1,922	2,251
新株予約権	—	267
純資産合計	357,266	306,599
負債純資産合計	1,025,913	1,033,730

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)
売上高	761,426	847,243
売上原価	325,790	378,111
売上総利益	435,636	469,132
販売費及び一般管理費	464,980	522,324
営業損失(△)	△29,343	△53,191
営業外収益		
受取利息	48	58
助成金収入	400	3,573
その他	—	748
営業外収益合計	448	4,380
営業外費用		
支払利息	2,566	1,791
社債利息	—	86
為替差損	763	731
株式交付費	5,580	—
株式公開費用	3,205	—
社債発行費償却	—	119
その他	260	—
営業外費用合計	12,377	2,728
経常損失(△)	△41,272	△51,539
税金等調整前四半期純損失(△)	△41,272	△51,539
法人税、住民税及び事業税	555	444
法人税等調整額	△8,863	—
法人税等合計	△8,308	444
四半期純損失(△)	△32,963	△51,983
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△32,963	△51,983

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)
四半期純損失(△)	△32,963	△51,983
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	629	329
その他の包括利益合計	629	329
四半期包括利益	△32,334	△51,654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△32,334	△51,654
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△41,272	△51,539
減価償却費	56,649	42,387
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△466	△30
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,678	18,784
受取利息及び受取配当金	△48	△58
助成金収入	△400	△3,573
支払利息	2,566	1,791
為替差損益(△は益)	596	593
株式交付費	5,580	—
株式公開費用	3,205	—
売上債権の増減額(△は増加)	8,511	93,382
たな卸資産の増減額(△は増加)	12,635	△2,443
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,357	△18,078
その他	30,831	△7,088
小計	57,353	74,128
利息及び配当金の受取額	48	58
利息の支払額	△2,250	△1,474
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,559	4,416
助成金の受取額	400	3,573
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,991	80,702
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,646	△1,145
無形固定資産の取得による支出	△102,370	△67,864
保険積立金の積立による支出	△6,462	△6,875
その他	△489	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113,969	△75,885
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	50,000
短期借入金の返済による支出	△11,020	△4,170
長期借入れによる収入	150,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△111,598	△170,361
株式の発行による収入	232,469	720
社債の発行による収入	—	147,611
株式公開費用の支出	△3,205	—
自己株式の取得による支出	△278	—
新株予約権の発行による収入	—	267
財務活動によるキャッシュ・フロー	256,366	74,067
現金及び現金同等物に係る換算差額	986	460
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	195,376	79,344
現金及び現金同等物の期首残高	137,359	234,436
現金及び現金同等物の四半期末残高	332,735	313,781

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年4月30日)

当社グループは、マーケティングプラットフォーム事業のみの単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年11月1日至平成30年4月30日)

当社グループは、マーケティングプラットフォーム事業のみの単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。